

保育所における自己点検・自己評価

若久青い鳥保育園 令和1年度

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入して下さい。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、D の4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述して下さい。

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する項目
D: 改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			子どもの心に寄り添う保育を心がけ保育目標である「豊かな心を育む保育」を具現化する為、長期的な見通しを持ち緻密に計画を行っている。
	(2)目標は各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3)目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4)目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5)目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1)指導計画は乳児の実態に即して作成しているか。		○			指導計画（年間・月間・週案）に基づき保育を行っている。保育内容に応じた保育教材を利用し保育している。廃材の特色を生かし子どもたちの創意工夫を取り入れた保育を展開した。
	(2)保育所保育方針に基づく援助、支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1)1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			0歳児～5歳児までの連続性を考慮して計画している。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			11月の保育参加では年長組の保護者と共に「僕たち私たちの夢の町」を廃材を利用して園庭で作成を行った。保育参加の終了後、手作りおやつの「きなこマカロニ」を保護者全員に試食して頂いた。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報については厳密に対応している。書類等は締切等を定め適切に処理するよう行っている。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			倉庫等の整理を行い使いやすいように工夫している。避難訓練等も計画し実施している。保育の様子や情報等掲示し工夫している。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3)不審者に対応する周到的配慮を行っているか。	○					
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				会計士と連携し処理している。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等の年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			小学生（卒園児）が参加しやすい行事には招待し、保育園に対して理解を深めている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、（乳）幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に、情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			6月～7月の2か月間保護者の保育士体験を行い、保育園への理解を深めたり職員の資質向上につなげている。 見学者は随時対応。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)（乳）幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			年度途中の退職者等があり体制を立て直すことが大変だった。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。			○		
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○		
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			会議は各々行っている。職員からの発言を増やしていけるようにしていきたい。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			ほいくの指導計画に基づき常に反省改善に努める。
		(2)年齢別、クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3)年齢別、クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。					
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			月に1回の避難訓練を実施している。園内の感染症の手紙や保健だよりを発行している。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
	研究・研修	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		キャリアアップの研修や各研修に参加し「保育目標」を達成するために保育に活かしている。
(2)所内研修の計画・運営は適切か。				○			
(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。				○			
(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		職員会議に研修会の内容を周知する。内容をレポートにまとめる。		
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。				○	開放していない。 パンジーペンギン教室 嘱託医と情報を共有する。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			保育通信やクラスだより及びホームページ等で情報の発信を行っている。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		地域や保護者からの意見も真摯に受け止め改善を図っている。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

苦情解決の報告

令和 1 年度の苦情件数は 0 件です。